

## 令和6年度第2回 薬物療法連携部会 議事録

日時：2025年2月21日（金） 15時00分～16時30分

場所：大阪国際がんセンター 1階大講堂

参加者：大阪府薬務課3名、大阪府健康づくり課2名、大阪府薬剤師会1名  
国指定17施設21名、府指定38施設45名

### 1. 開会のご挨拶

高木部会長より、本日の部会の流れについて説明された。

大阪府健康づくり課久保田総括主査より、昨年の3月に策定した第4期大阪府がん対策推進計画の中で、薬剤モニタリングの指標として、薬物療法の延べ患者数を追い毎年度の施策の進捗管理を行っているので、本日の議論も参考にし、引き続き取り組みを進めていきたいと述べられた。

大阪府薬務課嶋田課長補佐より、保険薬局への情報発信を後ほど紹介されることを述べられた。

大阪府薬剤師会鈴木事務局長より、大阪府共通 TR は患者さんのサポートになるが、なかなか利用が進んでいないので、薬剤師会として今後も広報していきたいと述べられた。

### 2. 薬物療法連携部会の今年度活動報告、次年度活動予定について（高木部会長）

- ・連携部会における役割を説明され、親会でも説明予定である各施設で実施される薬物療法のアンケートについて、未回答施設へ回答を求められた。
- ・本年度の活動報告の中で、大阪版 TR について、使用状況やアンケート結果等を報告された。
- ・大阪版 TR について大阪府嶋田課長補佐より、大阪府下への周知方法含め、現在の大阪府としての取り組みを説明された。
- ・薬物療法連携部会での今後の検討事項については、意見はなかった。
- ・議題3における事前アンケート結果を報告された。

### 3. ビロイの嘔気・嘔吐の最適なマネジメントを目指して

大阪国際がんセンター腫瘍内科診療主任緒方医師より、表題の内容でご講演賜った。

### 4. その他

特になし